2025年 6月 カレンダー記念日 説明表

い〜とカレンダーは様々な記念日をきっかけに、食や健康に対して関心を持って頂き、自分自身の健康管理や生活習慣改善に役立ててもらうことを目的としています。

日付	記念日	説明
1	チューインガムの日	平安時代より、元日と6月1日は「歯固めの日」として、かたい餅などを食べて健康増進を図る風習があったことからチューインガムを通じて、かむことの大切さを考えてもらうのを目的として制定されました。
2	オムレツの日	6と2で「オム (06) レツ (02) 」と読む語呂合わせから由来されます。
3	もろみみその日	6と3で「もろ (6) み (3) 」と読む語呂合わせから由来されます。
4	蒸し豆の日	6と4で「蒸し」と読む語呂合わせから由来されます。
6	らっきょうの日	この時期がらっきょうの旬であり、漢字の「六」は根菜であるらっきょうが土の中で成長していくイメージがあること、数字の「6」がらっきょうの姿に似ていることなどから、6が並んだこの日に制定されました。
8	ロハスの日	地球環境と人の健康を意識した行動様式を意味する「Lohas (ロハス)」。6と8で「ロ (6) ハ (8) ス」と読む語呂合わせから由来されます。
10	無添加の日	6と10で「無添 (むてん) 加」の語呂合わせから由来されます。
12	ロースーツの日	ロースーツ (Raw sweets) とは、加熱せずに生 (Raw) の素材を使い自然の栄養素や酵素を損なわずに作られるスイーツのことで、6と12で「ロー (6) スーツ (12) 」と読む語呂合わせから由来されます。
13	いいみょうがの日	6月は「みょうが」の旬の時期で生産量が増えることと、13日を1と3で「いい (1) みょうが (3) 」と読む語呂合わせから由来されます。
15	生姜の日	古くからすぐれた調味料、体に良い食材として、生活に取り入れられてきた生姜は、奈良時代から神様への供え物として献じられ、6月15日に感謝の祭りが行われてきたことから由来されます。
16	手羽トロの日	数字の6が手羽元の形に似ていることと、16で「トロ」と読む語呂合わせから由来されます。
18	おにぎりの日	日本最古の「おにぎりの化石」が発見された石川県鹿島郡鹿西町 (ろくせいまち=現在の中能登町) の鹿西の「ろく (6) 」と、毎月18日の「米食の日」を合わせた日に制定されました。
19	食育の日	「食育の日」は、食育推進運動を継続的に展開し、食育の一層の定着を図るための機会として、「食育推進基本計画」により定められました。
21	夏至	二十四節気のひとつ。太陽が最も高い夏至点に達するため、北半球では昼が最も長く夜が最も短くなり、その時間の差は4時間以上にもなる。
22	かにの日	占星術の十二星座で「かに座」の最初の日が6月22日にあたることが多く、あいうえお・・・の50音で「か」は6番目で「に」は22番目となることから由来されます。
25	生酒の日	本格的な生酒を発売した1984年6月25日から由来されます。
27	ちらし寿司の日	ちらし寿司の誕生のきっかけを作ったとされる備前藩主の池田光政公の命日から由来されます。
29	佃煮の日	佃煮発祥の地の守り神として創建されている東京佃島の住吉神社の大祭が6月29日であることから由来されます。